

ニュース・ターミナル(トラック協会ニュース)
NEWS 2018.8.5-9.1

全ト協

過労死等防止・健康起因事故
等防止事業を推進

第10回労働安全・衛生委員会

第10回労働安全・衛生委員会(奈良幹男委員長)が8月30日に開催され、平成30年度事業の進捗状況(①過労死等防止計画フォローアップワーキンググループ(WG)、②過労死等防止・健康起因事故防止セミナーの開催状況、③血圧計普及状況、④SASスクリーニング検査の助成実績)等につ

いて審議・承認した。また、役員の選任について、TAKAIDOKUの飯田勇一社長と、梅田運輸倉庫(株)(大阪府)の井上泰旭会長を新副委員長に選任するとともに、飯田副委員長を労働安全・衛生小委員会の委員長に選任した。

①では、同WGの活動状況および冊子『トラック運送業界の過労死等防止計画』やリーフレット『運行管理者のための血圧計活用のポイント』の作成・配布による周知のほか、トラックドライバ



第10回労働安全・衛生委員会(8月30日、全ト協)

の自己管理のためのツールとして手帳『トラックドライバのセルフケアチェックシート(仮称)』を作成中であることが報告された。

そのほか、「30年における労働災害発生状況(速報)」や、働き方改革関連法案等に関する報告が行われた。

なお、議事に先立ち、NPO法人ヘルスケアナネットワーク(OCHIS)の作本貞子副理事長が「運輸ヘルスケアナビジョンについて」をテーマに講演した。